

番号	5	令和3年度公共事業再評価調書		担当課名 道路整備課		
事業名	道路改築事業		事業主体	静岡県		
箇所名	いっぽんけんどう やまなしいちのみやせん 一般県道 山梨一宮線		市町名	周智郡森町		
事業採択年度	平成29年度		計画期間	平成29年度～令和8年度		
用地着手年度	令和3年度		工事着手年度	令和4年度（予定）		
再評価理由	事業採択（H29）後5年間が経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円 950	投資状況 (百万円)	～R1年度 52	R2年度 65	R3年度見込 15	計 132
事業概要	<p>(1) 事業目的 一般県道山梨一宮線は、袋井市山梨から森町円田に至る延長約4.6kmの路線である。本事業は、このうち森町谷中から円田に至る延長約1.1kmの狭隘な現道区間について、都市計画道路「森町袋井インター通り線」の一部をバイパスとして整備を行うものである。</p> <p>本事業により、狭隘な現道区間の通過車両の転換が図られ、歩行者の安全や円滑な交通が確保されるとともに、東名高速道路と新東名高速道路を結ぶ広域道路ネットワークが強化され、災害時等の安定した物流の確保や産業の活性化が期待される。</p> <p>(2) 事業内容 計画概要：延長 1,073m 計画幅員：車道 6.5m（全幅14.5m）車線数 2車線（バイパス）</p>					
事業の必要性等	<p>【視点1】</p> <p>(1) 事業を巡る社会情勢等の変化 ・ 森町の工業製品出荷額は、5年間（H23→H27）で約3割増加している。 ・ 平成30年度には、内陸フロンティア推進区域に指定された付近の工業団地に新たな区画が造成され、企業活動に使用されている。</p> <p>(2) 事業の投資効果 現時点（R3）の分析結果：費用便益比B/C=2.6、経済的内部収益率EIRR=10.6% ・ 総便益（B）23.0億円 走行時間短縮便益 20.0億円、走行経費減少便益 2.3億円 交通事故減少便益 0.8億円 ・ 総費用（C）8.9億円 建設投資額 8.7億円、維持管理費 0.4億円、用地残存価値 0.2億円</p> <p>(3) 事業の進捗状況（令和3年度末見込み） 【事業費】 13.9% 132百万円/950百万円 【用地費】 1.0% 244m²/25,550m² 【事業量】 0% 0m/1,073m（供用延長） 【工事費】 0% 0百万円/693百万円</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>【視点2】</p> <p>近年激甚化する豪雨災害等を踏まえ、新たな道路整備が周辺地域へ与える治水上の影響調査と対策検討に期間を要したため、事業期間を令和8年度まで延伸する。今後、バイパス区間の地元説明を引き続き進め、理解が得られた箇所から用地買収及び工事を進めていく。本事業は袋井市と森町を接続する都市計画道路の一端を担うバイパス整備であり、地元の要望が強い路線であるため、事業が進捗する見込みである。</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
新たなコスト縮減・代替案等の可能性	<p>【視点3】</p> <p>盛土工に他事業の流用土の有効活用を行うなど、引き続き工事のコスト縮減を図っていく。</p>					
対応方針（案）	<p>(1) 対応方針 本事業を（ <input checked="" type="radio"/> 継続 ・ 中止 ）する。</p> <p>(2) 理由 本事業は、広域的な移動の円滑化や災害時等に安定した物流の確保、地域の交通安全に資するものである。さらに、地元の期待も大きく、事業の投資効果も見込まれ、関係機関の調整が順調など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。</p>					